

授業科目名 <英訳>		国際保健学 International Health			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 里村 一成				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期集中	曜時限	木3・4	授業 形態	講義・演習	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
国際保健における日本の役割を知る。 日本との比較による海外の保健医療について検討する。											
[到達目標]											
国際社会と日本社会の違いを知るとともに日本が可能な国際保健への貢献について考えられる。 今後の日本の保健医療のあり方について、参考となる海外の情報に謙虚に耳を傾けられる。											
[授業計画と内容]											
第1・2回 12月1日 国際保健概論 第3・4回 12月8日 国際保健各論(1) 第5・6回 12月15日 国際保健各論(2) 第7・8回 12月22日 国際保健各論(3) 第9・10回 1月5日 国際保健各論(4) 第11・12回 1月12日 国際保健各論(5) 第13・14回 1月19日 国際保健各論(6) 1月26日 フィードバック											
日程は変更の可能性があるので開講日に確認のこと。											
[履修要件]											
MPH選択 健康政策学との同時履修が望ましい											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点(出席状況、授業内での発言等) (50%) レポート(50%)											
[教科書]											
必要に応じて授業時にプリントを配布する。											
[参考書等]											
(参考書) 『国民衛生の動向』(厚生統計協会)											
[授業外学習(予習・復習)等]											
新聞、TV、インターネット等の保健医療行政に関する報道等を興味を持って視聴し、授業内容の理解に役立てること。											
(その他(オフィスアワー等))											
授業方法：講義及び演習 国際保健関連に従事している者、またはその経験者との討論。 受講人数によって内容を変更することがある											
※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											